

1. 日 時 令和4年10月9日（日）午前10時～12時
2. 場 所 白糸台文化センター 講堂
3. 出席者 23名
4. 書 記 芝喜久子

5. 地域市民の集いの概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、山岡、川辺、久保寺、芝（7名）

是政文化センター圏域：高木、一色、畑澤、奥田、松田、平田、田中、田代、原田、守分、大室、村野、宮田、工藤、すがや、平久保（団体：16名）

(3) 府中市自治会連合会／自治会についての説明（谷本）

四部会と懇談会の時間を多く取りたいので省略。

(4) 四部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

自治会活動賠償保険の説明と推奨。市民協働まつり11月26日～27日自治会連合会も参加しているのでお越しください。

・生活安全対策部（谷本事務局長）

部長は他の会と重なっているので谷本事務局長が説明。この部の仕事は防災対策が主である。ホンダの発電機の使用説明、防災機器と商品の紹介停電ライト・トイレの防臭袋ボス・家具の転倒防止ふんばる君等の紹介。東京都の助成金を得てそれらを購入する事が可能、都の防災リーダーに登録すると情報を得る事が出来る、災害用の食料品は各家庭でのストックを奨励等仔細に説明。

・環境対策部（川辺）

年1回の視察研修（ビッグサイト）9月11日バス2台41名で実施。

・福祉対策部（久保寺）

国際福祉展（ビッグサイト）10月5日実施。要援護者への支援活動の推進。府中市の第42回福祉まつりが3年ぶりに実施される、檜並木に81のブースが並ぶ、自治連合会のブースも出るのお越し下さい。

・デジタル部会創設（仮称）について（谷本）

どの組織もタブレットでの研修が多くなってきている。自治連としても力を入れていく。自治連にあるタブレットは貸し出しするので利用可。来春にはデジタル部会を創設予定。

(5) 懇談会

①資源回収の市の助成金をあげて欲しい、第51回市長との懇談会に課題提示したが市の回答は駄目でした、吾が自治体も子供・高齢者への行事の費用が重なり運営が苦しい、自治連から話をして欲しい。

・環境部長からは業者からの補助金も無い状況だが、補助金をだす業者もあるようなので業者の選定を考える事も必要と説明・市民協働対策部長から、市の市民協働推進の会では「市民提案型の意見を出してもらい審査を経て合格したら助成する」がある、この方法で資金を得ることも視野に入れたらと説明。事務局長からは今年の市長と語る会のフリートーキングで話をして下さいと助言。

②吾が町会の防災については課題があると認識している、今日話を聞いてこれから取り組んでいきたいと思った。都の助成を受ける方法を教えて欲しい。・都の地域のそこ力の助成が年4回ある、それを受けながら整備をすると良い、自治連として「防災整備5ヶ年計画」を示す事ができる、尽力をさせて頂く。事務局長から仔細の説明。・持ち帰り皆と話し合い、自治連に相談に伺うと返答。

- ③鴉（カラス）がボックスのアルミ缶を取り出す悪戯をする、生ごみ等でもだ、どうしたらよいのか。・アルミ缶は網で回収が良いと思う、生ごみは個々の心構えの啓発が必要。
- ④各町会は防災倉庫をどこに設置しているのか、公園に置かせて欲しいのだが市から良い返事が貰えない。・各町会が防災倉庫を持っているか、設置場所はどこかそれぞれ情報交換をした。
- (6) 閉会 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--